



▲開示のたびに違う公文書、どちらが本当か

会議録・公文書の偽造か

答弁 = 抵触しないと考える



緑生会
松本 かをり

(旧)北小連営協議会名簿と県との連絡調整の検討状況を開示請求した。両方とも、不開示部分の全開示を求めた。審査会で全開示すべきと答申。前回提出された文書と比べると、名簿など3カ所変更。県との文書も全面作り直されていた。

公文書は一枚であるべきではないのか。北小に関して、町と県の契約時の起案書の中に記載されている必要な受付印と起案日との日付が逆なのはなぜか。これらは、公文書偽造・行使、虚偽公文書作成の罪に抵触しないか。

答弁 II 三村理事

今回の開示文書は、前回より古い文書。事務局用の文書を間違いで渡してしまっただけ。申し訳なくおわびしたい。県との文書も、日数の経過した関係で間違いの文書を渡したかも知れないので確認をしたい。起案書の件は、県との連絡は電子メールで行っている。申し入れ案をいただいた上で起案をし、その後、正式な文書を差し替えた。事務処理上、このような方法を取った事に、ご理解いただきたい。公文書偽造などには抵触しないと考える。



▲早期の整備が望まれる駅西踏み切り南側

土山駅南側周辺整備は

答弁 = 本事業は今後の課題に



青雲21
藤原 秀策

契約が締結され移転が正式に決定された「はりま病院」については、この地においても住民に愛され信頼される病院に、と期待をします。また、土山駅西踏み切り南側の交差点改良は移

転交渉の断念を受け、凍結状態となっています。依然として危険な状況は変わらず、早期の改良を強く望むところです。町はこの事をどう認識し、どう対処するのか。

答弁 II 清水町長

関係者の協力が得られず断念した後、この事業の手法として、当初に考えていた代替予定地は現在、既に他の土地利用予定地となっており、以前にもまして地権者の協力や理解を得ることが困難な状況です。駅舎南側からのアクセス整備をしたことなどから、交通の安全面から交差点改良整備の必要性は認識していますが、他の事業と並行して事業を再開し推進することは、用地買収計画にかかる補助などの確保においても困難です。

新学習指導要領の浸透は

答弁 = ほぼ全員に浸透している



住民クラブ
小西 茂行

本年度から移行が開始されているが、指導助言の具体的な取り組みは。①総則、総合的な学習、特別活動の先行実施は。②算数、理科は。③小学校の外国語活動は。④国語の「伝統的な言語文化の扱い」は。⑤道徳教育は。

答弁 II 松田教育長

校長のリーダーシップのもと、重点課題や研究主題を確認し、指導要領の理念を踏まえ、移行措置の先行実施に対し、指導助言を行っている。①地域や各学校、生徒の実態に即し、先行実施している。



▲「生きる力」の養成を理念とし今年度より移行

②年間計画を見直し、移行措置で、改善、追加になった教育課程を編成し実施している。③18年度から実施しており、体制、取り組みは十分できている。④狂言鑑賞会を実施しており、スムーズな移行ができるかと考える。⑤道徳教育全体計画を作成し、委員会を開催して取り組んでいる。その他の質問 Q 学力テストの結果について。 A 小学校、中学校とも、全国平均とあまり差はないが、やや上回っている教科、やや下回っている教科がある。

町民の生命と財産を守れ

答弁 = 水防計画に基づき対応



明風会
福原 隆泰

危険を知って放置すれば人災だ。早期の計画的な整備は。①道路冠水や側溝からの溢水個所の把握は。②計画的な改修は。③自主防災組織への人材育成支援は。④ため池の調整機能を十分に果たせないか。



▲計画的な整備を（避難所となる播磨小体育館）

⑤農地の転用が進み、開発により雨水の流出量が増え側溝がもたない。⑥仮設トイレは避難所に配備し、平常時に組立訓練をすれば。⑦被災時の仮設住宅は。⑧復興に有効な地籍調査事業の推進は。⑨防災の日に関民一斉の防災訓練の実施を。

答弁 II 木村理事

①過去の記録から20数カ所を特定している。②原因が特定できれば、優先順位を付けて改修。③資器材の貸与と運営経費補助が主だが、講演会などの支援を考へる。④検討する。⑤開発規模が大きいと行政指導できる。小さい場合は行政が責任を持って改修。⑥石ヶ池と北池に10基ずつ配置して対応。⑦城池と北池に建設。⑧来年度より新島地区から事業を始める。⑨一過性のイベントは考へていない。